

相互提案協働事業 報告書

平成23年5月27日

（あて先）鎌倉市長

住所 [REDACTED]

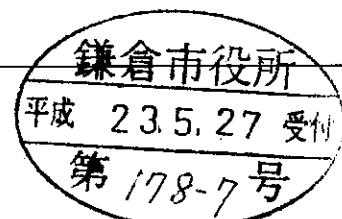
郵便番号 [REDACTED]

団体名 玉縄城址まちづくり会議

代表者氏名 [REDACTED] 印

平成22年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	玉縄民俗資料館リニューアル
事業概要	玉縄の歴史と生活を伝える貴重な民俗資料を収蔵する龍寶寺「玉縄民俗資料館」は、これまでその存在すら殆ど知られず、「宝の持ちぐされ」状態になっていた。私たちは市と協働してこれをリニューアルし、玉縄の魅力的な「今と昔」の姿を沢山の方に見てもらえるようにした。今後、玉縄城復元模型の作成など、展示物を充実させるとともに、生涯学習の場として、ふるさとの歴史と生活文化を実感してもらう場として、「見る、聴く、学ぶ」企画展、連続講座などを開く。多くの市民に「鎌倉の中の玉縄」を再発見し、その素晴らしさを実感して頂く計画である。
市担当課	教育委員会生涯学習部 文化財課
事業実施期間 （継続中の事業については、継続に○をつける）	継続 開始 平成22年4月1日 ～ 終了 平成23年3月31日
協働の形態	市民活動団体提案協働事業
事業費	500,000円



<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点> ①従来雑然と展示されていたものを、整然と種類別コーナーに分けて、簡単な説明付の名札を付け見やすく展示することが出来た。 ②玉縄の歴史・民俗資料を、資料館と修復された旧石井家古民家を使用して一体的に展示出来るようになったこと。 ③小学校の社会科学習に役立つ展示が出来た。 ④小学生を迎えて、地域の学習体験を学校側、案内する当会会員も体験でき、次回への参考に役立つ機会を得られた。</p> <p><達成できなかった点> ①玉縄城域模型地図が集積段階で期日を迎え次年度に完成を伸ばした。 ②歴史のパネル展示物の作成と展示が未達成となった。 ③整備された各資料を使用する講座開設ができず、教育の場への活用が次年度に持ち越しとなったこと。今後、教育指導課と、さらなる活用の推進を話し合う必要を感じています。</p>
<p>成果・効果</p>	<p>①鎌倉市として唯一の民俗資料館を、旧石井家古民家と併せて「玉縄ふるさと館」とし、後世の人たちへ伝え残せる場として礎をつくった。 ②昔の人たちの知恵によって作られた農工具、生活具を偲べる場、特に子どもたちにモノづくり、モノの大切さを教える実践の場として今後も広く活用できるようにできたこと。 ③地元の歴史としての玉縄城をより多くの人に知って貰える唯一の情報提供・説明コーナーの場として今後活用できるようにしたこと。 ④市との協働による活動を単なる掛け声ではなく実際に実らせたこと。市民がまちづくりの目標をもって奉仕することの楽しみを共有できたこと。</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>①新規に「玉縄ふるさと館」として再出発し、末長く皆さんに愛され利用して貰うために、市民、龍寶寺、鎌倉市が一体となった取組が必要。 ②活用の面で、ヒト・モノ・カネなど運営における対応。そのための龍寶寺側との協力。 ③今後、より多くの展示物をつくること。 ④活用事業により多くの市民に参加を求めること。玉縄市民が自分たちの文化の場として自覚をもってもらうこと。などです。 これからの活用事業にさらに当会として力を入れます。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>1、資料館・古民家を一体とした見学順路を更に整備する。また、入館料徴集の方法などを考えた運営の仕方を、龍寶寺側と取り決めを行う。 2、このふるさと館を活用しての実践的な教育の場(例：寺子屋形式等)を設けることも具体的に検討していく。 3、平成24度の玉縄城築城500年に向け、玉縄市民ガイドを、当会の会員、市民から募り養成する。こうして、玉縄を訪れる多くの方々に十分な説明、案内、おもてなしをする準備を進めていく、考えです。</p>

添付資料

- ・事業結果報告書
- ・収支決算書

協働事業収支決算書

(単位：円)

(1) 収入の部

区 分	金 額	備 考
鎌倉市負担金	450,000	
玉縄城址まちづくり会議負担金	22,772	
合 計	472,772	

(1) 支出の部

区 分	金 額	備 考
交 通 費	20,280	
消 耗 品 費	452,492	消耗品 422,174 印刷代 30,318
合 計	472,772	

以上ご報告致します。

玉縄城址まちづくり会議

